

スイスからのトラベラー受入れも又楽し

奈良市会員

4月12日から14日まで、スイス人の女性Eさんとご友人Tさんが、奈良県生駒市の実家に宿泊されました。69歳のこの二人連れは穏やかな人柄で、英語もゆっくり話してくださり、世代の近い私の両親とすぐ打ち解けられました。火曜の夜に到着し、水曜日は奈良公園を散策されました。まだ桜が咲いている時期だったので、枝垂れ桜で知られる氷室神社、そして近鉄奈良駅の観光案内所の勧めで佐保川沿いの桜並木をゆっくり散策されたそうです。日本の花見パーティの習慣を説明するととても興味を示していました。実家の朝ごはんに出たゆで卵を奈良公園に持って行き、桜の木の下で食べたそうです。水曜日の朝は父も私も仕事が休みだったので、東大寺まで同行しました。奈良公園では退職されたような年齢の方がボランティア・ガイドとして活躍しておられ、その時期に咲いている季節の花や見どころなど気さくに教えてくれ、トラベラーの二人も日本人との交流をととても楽しんでいました。



奈良観光に途中まで同行したのは、お二人がクレジットカードのキャッシングの仕方が分からないと仰ったこともあります。観光案内所にも尋ねましたが、結局彼女たちが使用しているヨーロッパのマスターカードは近鉄奈良駅周辺のATMでキャッシングすることができず、意外なことに、佐保川沿いのコンビニ（近鉄新大宮駅）でやっとお金を引き出すことができました。スイスのドイツ語圏からいらしていたので、そのATMにドイツ語で案内する機能があったのには感激していました。

実家には二泊宿泊して頂き、一泊目はすき焼きを、二泊目はお好み焼きを作り食べました。調理が簡単なお好み焼きの方が嬉しそうに食べていた印象です。食事の時間は母親を含め、家族とスイスの方々が親睦を含められる最も楽しい時間でした。両親もスイスのお二人も子供や孫の写真を見せ合い、互いの日常生活や家族イベントの楽しい思い出などを語り合っていました。父は英語の小説を読むのが趣味で、母は毎週英会話のレッスンに行っているの、時々こうして海外の方と英語で会話ができるのは、世界が広がり楽しい経験だと言っています。私も最近海外旅行をできる機会が少ない分、こうして日本に関心がある方に来て頂いて外国の色々なお話をできるのは、良い刺激になっています。仕事や実家の都合であまり頻繁にホストをできませんが、外国の方と国内でこのような交流の機会があるのは貴重なことだと思っています。